

ぎかいの話題

羽ばたく大牟田へ新体制スタート

令和5年4月23日に行われた大牟田市議会議員選挙において、23人の市議会議員が選出されました。

任期は5月2日から4年間です。

5月22日に臨時会を開き、正副議長選挙を始め、常任委員会や議会運営委員会等の構成を決めるとともに、各委員会の正副委員長を選出しました。

今号と次号(226号)で全議員を紹介します。



徳永 春男
議長

(自由民主党市議団)

第39代大牟田市議会議長に就任させていただきました。

全国的に人口減少の歯止めがかからない中で、特に大牟田市は少子高齢化の先進地であり、様々な影響が負のスパイラルとして、市民生活を脅かしています。

大牟田市議会としましても、人口10万人の維持は必要不可欠と考えており、まったなしの人口減対策に、23名の議員がより研さんし、会派の垣根を越えて一丸となって頑張る所存です。

- ①67歳 ②倉永 ③大谷翔平の活躍のテレビ観戦
- ④人生は波、今を生きること
- ⑤適度に田舎、適度に街
- ⑥人口減対策は若者の定住に尽きる。大牟田市とその近郊には事業所が多数立地している状況を生かし、「大牟田は雇用の場(就職先)が有る」という認識を抱くよう「産業フェスタ」を開催し、本市の産業力のアピールにより、「子供又は孫の一人は大牟田に」となることが、明日の大牟田をつくると確信しています。



古庄 和秀
副議長
(民主・護憲クラブ)

第45代大牟田市議会副議長に就任いたしました古庄和秀です。行政と議会は、まちづくりにおいて車の両輪と言われます。今後、総合体育館、新ごみ処理施設建設、市役所庁舎整備などが始まっていきます。行政との緊張感を持ちながら、全力で徳永議長をお支えし、「チーム議会」でまちづくりを進めていきます。

車いすを利用する副議長は全国で初めてです。多様性を受け入れるやさしいまちづくりに微力ながら尽力してまいります。

- ①50歳 ②白川 ③たまに温泉 ④一球入魂
- ⑤温かい人が多く、おいしいものが多い。交通の便が良く、九州内は日帰りができる。
- ⑥障害がある人が暮らしやすいまちは、誰もが暮らしやすいまちという視点のもと、バリアフリーを推進し、人権が尊重されるまちづくりを進めます。システムソフトウェア会社を中心商店街に誘導するよう提言していきます。



船原 基近
議員
(民主・護憲クラブ)

- ①55歳 ②大牟田中央
- ③磯釣り、登山
- ④教え子を再び戦場に送るな
- ⑤田舎でもなく大都会でもない、住むには丁度いい街、大牟田が大好きです。九州のへそ。どこでも丁度いい距離で行ける場所もいいです。
- ⑥低迷する投票率の改善を目指して、多くの市民の方々に市政をもっと近くに感じてもらえるよう、皆様の身近な議員として、しっかりと取り組みます。



北岡 あや
議員
(無所属)

- ①48歳 ②銀水
- ③バスケットボール、読書(特に推理小説)
- ④すべてを疑え
- ⑤不思議な有明海が存在、ラーメン屋さんが多いこと。
- ⑥「あたりまえ」の生活が送れていない、取りこぼされた市民の声を拾い集め、行政に届ける活動を行っていききたい。大牟田に住んでよかったと思えるまちを地域みなさんと一緒につくっていききたい。

(番号の見方) ①年齢 ②校区 ③趣味 ④座右の銘など ⑤大牟田の好きなおとこ ⑥所信
(名前後は所属会派)

※紹介する議員の順番は、正副議長を除き、議席順で紹介しています。